

製品名: MAG-E2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13595**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	41kDa

抗原情報

遺伝子名	MAGEC2
別名	MAGEC2; HCA587; MAGEE1; Melanoma-associated antigen C2; Cancer/testis antigen 10; CT10; Hepatocellular carcinoma-associated antigen 587; MAGE-C2 antigen; MAGE-E1 antigen
遺伝子 ID	51438.0
SwissProt ID	Q9UBF1
免疫原	MAGE-C2 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 160-240

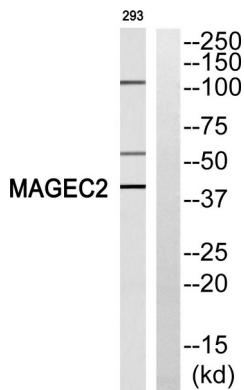
背景

この遺伝子は MAGEC 遺伝子ファミリーのメンバーです。精巣を除く正常組織では発現せず、様々な組織学的タイプの腫瘍で発現します。この遺伝子と他の MAGEC 遺伝子は、染色体 Xq26-q27 にクラスターを形成しています。[RefSeq 提供、2009 年 10 月]、発生段階：精原細胞および一次精母細胞で強く発現します。成熟後期には、発現は徐々に減少し、成熟精子細胞では検出されなくなります。類似性：1 つの MAGE ドメインを含みます。細胞内局在：生殖細胞では核内。高分化型肝細胞癌では細胞質内、中分化型および低分化型肝細胞癌では核内。組織特異性：精細管の生殖細胞および小脳プルキンエ細胞を除く正常組織では発現しません。メラノーマ、リンパ腫、膵臓がん、乳腺がん、非小細胞肺がん、肝がんなど、様々な腫瘍で発現しています。肝細胞がんでは、腫瘍の分化度とタンパク質発現の間に逆相関が見られ、分化度が低いほど発現率が高くなります。

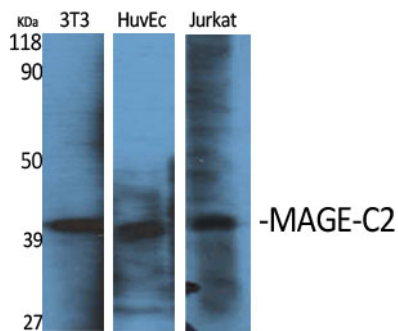
研究分野

腫瘍免疫学; 腫瘍関連抗原; がん; 腫瘍バイオマーカー; 腫瘍抗原

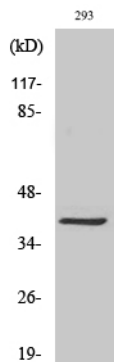
画像データ



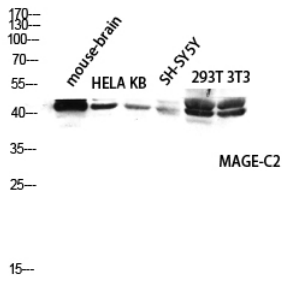
MAGEC2 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは MAGEC2 ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈した MAGE-C2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



1: 1000 に希釈した MAGE-C2 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析



MAGE-C2 抗体を用いたマウス脳 HELA KB SH-SY5Y 293T 3T3 のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。